

目標達成計画

作成日 : 平成 22年 1月 15日

評価結果

市町村提出日 : 平成 22年 1月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	施設内での緊急時体制だけでは対応にも限界がある。特に夜間は、地域の方の協力なくしては緊急時の安全確保は図れないと確信に近いものがある中で、その体制作りを検討していきたい。運営推進会議の中では毎回のように議題にあがっているものの、具体策が見つからないままという現状である。	認知症の高齢者が混乱する事のないように特別に訓練と称しておこなうのではなく、日々の生活の中で緊急時を想定した避難手段を身に付けて戴けるような支援を継続していく。又地域との連携を密にする中で、より潮風への理解を深めて貰えるよう、地域貢献をしていく中で協力を仰いでいけるよう努めていく。	運営推進会議での検討を継続し地域の理解を深めていく。又自治会総会を利用してグループホーム潮風の紹介をさせて頂く中で広く潮風を知って頂く機会とする。交流の場、交流の機会を提供する中で、双方の理解を深め信頼関係を構築し、協力体制を築いていきたい。(総会の中で緊急時における実情を報告し協力を仰ぐ)	6 か月
2	3	2ヶ月に一度の定期開催も定着し、自治会長、民生委員、ご家族の方、行政の方との交流もごく自然な形で馴染みの関係となってきている。しかし一方で地域全体の方への働きかけに繋がっていないようにも感じている。	運営推進会議の定期開催を継続する中で、役員の方だけではなく、地域住民の一員として役割が果たせるような内容の検討を図り、意義ある会議の継続を図っていきたい。	認知症事業所潮風としての情報、知識を広く地域の方に還元させて戴ける機会の検討、地域の中で安心して暮らせるまちづくり、の構築を目指して運営推進会議の継続を図り提供していきたい。(認知症サポーター養成講座の開催等)	6 か月
3					か月
4					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。